

# 自然体験学習

2年

K・K

私は、今まで自然学習では主に植物のことについてたくさんのことを調べてきました。山の高山植物の種類や特徴について、高山植物の花のこと、高山植物の環境問題についてなどいろんなことを調べました。

高山植物とは、森林限界より高い高山帯に生えている植物のことです。亜高山帯に生育する植物も高山植物です。でも、その植物が高い山に生育しているから高山植物と呼ぶわけではありません。森林の限界が低いところでは高山植物を平地や海岸近くでも見ることができます。高山植物には、さまざまな特徴があります。

その特徴とは、高山植物によって環境にあったさまざまな特徴をそれぞれ持っています。山の植物には、厳しい環境にも耐えられるためのほかの植物とはちがった特徴があります。地下茎や根が発達しているという特徴を持っている高山植物や全体的にも毛が多く生えている高山植物など特徴はさまざまです。あと、高山植物は生長期間が短いので一年草は少なく多年草の種類が比較的多いです。

高山植物は、まだまだ沢山の種類があります。その数は、高山植物全体でも種子植物だけで約500種類以上の高山植物が日本にあります。そして、高山植物の種類を大きく分けてみると双子葉植物、単子葉植物、裸子植物に分かれます。

この3つの植物に種類が分かれています。もっと細かく分けるとたくさんさまざまな種類に分かれて数がとても多いです。

高山植物は、普通の植物とは違うところもあります。それは、高山植物は森林限界より高い高山帯に生えているけれど、普通の植物は高い山には簡単に生えることができません。

その理由は、高山植物の生えている山や森林の生育環境がとても厳しいからです。

高山植物の生えている生育環境は一日の最高気温と最低気温の温度差がとても大きいこと、高い山では風がとても強いことなど理由は様々あります。

このような環境だからこそ高山植物は、ふつうのとは違って珍しい特徴を持っていたりします。このような厳しい環境でも高山植物の花はとてもきれいです。

花の種類もたくさんあります。その色は、花によって様々で白い花や黄色い花、青、紫、桃色、黒、赤などの色がたくさんあります。

高い山の場所でも高山植物の花は風と寒さにたえながらきれいな花を咲かせていきます。

そして、高山植物のうち約20%が北方起源の種で氷河期の生き残りとされています。なので、高山植物は、とても貴重であることがわかります。

高山植物の種の半数以上が固有種に分布している高山植物が多いです。種類も様々に分かれていることがわかります。

でも、そんな高山植物にはいろいろな環境問題があります。それは、高山植物の生育地は指定されている場所に生育しているのが多いけど、登山者による踏みつけなどの影響を受けやすいということです。また、ほかにも高山植物の花の美しさや植物の珍しさから盗掘されるということも多いです。

その盗掘が原因で絶滅危惧種となってしまった高山植物は多くなってきています。

なので、今では高山植物はとても貴重になっています。絶滅危惧種となってしまった植物は、ケシ科で双子葉植物のコマクサという植物などがあります。

高山植物にもたくさんの様々な環境問題があるので少しずつ問題を解決できるようにできたらいいです。絶滅危惧種を増やさないようにたくさんの高山植物を守っていくことが大切です。

少しでも絶滅しないようにしていきたいです。一つ一つの植物の大切さを知ることが大事なのでしっかり植物の意味を知って生活をしていきたいです。

このようなことを主にずっと自然体験学習の時間に調べていたりしてきました。高山植物の特徴や習性、花の種類や環境問題などいろんなことを知ることができました。

そして、次に林間学校の自然体験学習にいきました。林間学校での自然体験学習では、コース別に分かれました。私は、一日目に「環境問題 自然を守る」というコース、二日目には「高山植物を調べよう」というコースを歩きました。

まず、一日目のコースでは高山植物やいろいろな沼などを見たりしながらコースを歩いて行きました。さまざまな植物の名前や特徴など沼のことなどもネイチャーガイドの先生に教えてもらいました。変わった形のした植物や面白い植物などたくさんありました。

実際に山の中に入ってさまざまな植物を見たり、いろんなことを知ったりすることができたのでよかったです。良い勉強になりました。

でも、このコースを半日歩いてみてやっぱり山の中に入るということは、自然をこわしてしまうということがよくわかりました。山の中に人が入ると山の中の道を歩くので植物などがふまれてしまったりしてしまうとその場所には植物が生えてこなくなって自然を壊してしまいます。

でも、人の手によってこの美しい裏磐梯を少しでも守っていけたらいいです。

一日目のコースでは、たくさんの植物やいろいろな沼を実際に見ることができたのでよかったです。私の歩いたコースは、五色沼自然探勝路というところを歩いて行きました。この自然探勝路にはさまざまな沼がありました。父沼、母沼、柳沼、青沼、るり沼、弁



天沼、竜沼、みどろ沼、赤沼、毘沙門沼など10数個の沼を見ることができました。1つ1つの沼の色や大きさなどほかの沼とは違うところもありました。このコースでいろいろな沼を見ることができました。下の写真は、一日目に撮ったるり沼の写真です。青く澄んでいてとても美しい沼です。

この下の写真は、一日目に撮った毘沙門沼です



この沼は、五色沼最大の沼で自然探勝路の3分の1を占めるとても大きな沼です。この沼は、他の沼と比べて酸性度が低いです。この沼もとてもきれいな沼でした。

そして、二日目には「高山植物を調べよう」というコーステーマの場所を歩きました。このコースは、一日目のコースとは違ってとても険しい山道のコースでした。高い山を登りながらたくさん的高山植物を見ました。山は高いので山からの景色はとてもきれいでした。周りの景色はほとんど全部山なのですごいなと思いました。

下の写真は道路から撮った山の景色の写真です。



とてもきれいな山が下の写真です。

すごく大きくて自然が広がっていてきれいな景色がたくさんありました。



二日目のコースを歩いてさまざまな高山植物やきれいな景色などをたくさん見ることができて本当によかったです。すごく勉強になりました。

そして、このコースを歩いている途中には、  
この写真のような大きな岩がありました。



この大きな岩は、溶岩が固まってできた岩です。山が噴火して溶岩が流れてかたまり、それが岩になりました。この岩は溶岩が固まってできた岩だということを私は初めて知りました。ネイチャーガイドの先生が言っていたので私はそのことを知ってびっくりしました。この岩はとても大きかったです。この岩の近くには山がありました。その山は、今も火山活動が続けている山です。山から煙も出ていました。やっぱり自然というのは、すごいと思いました。自然のすごさをあらためて実感することができました。本当に大きな岩でした。





この上の写真は、今も火山活動を続けている山です。二日目に撮った写真です。二日目のコースを歩いている途中にこの山がありました。山から出ている煙は有毒ガスです。このように、有毒ガスが出ているので山の周りにはあまり草などは生えていません。斜面がむき出しになっています。すごかったです。

林間学校での自然体験学習は、とても良い経験になりました。さまざまな高山植物やいろいろな沼、景色などたくさんのもを実際に見ることができてよかったです。この自然体験学習で見てきたこと、初めて知ったこと、学んだことなどをしっかりとこれからわすれないようにしていきたいと思います。林間学校のことを、これからの勉強に生かしていけるようにします。とても良い思い出になりました。